

令和4年度
小規模多機能型居宅介護
ゆうあいの里

サービス評価（外部評価）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1 月 20 日 (金)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 森内・横田・東海林・富川・山田・古川・駒井・杉本
中井・田中・山本眞澄・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 1 人 事 1 人	個 6 人 事 6 人	個 5 人 事 12 人	個 1 人 事 1 人	12 人
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	個 1 人 事 1 人	個 10 人 事 4 人	個 2 人 事 8 人	個 1 人 事 1 人	12 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	個 3 人 事 2 人	個 7 人 事 6 人	個 2 人 事 4 人	個 1 人 事 1 人	12 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	個 2 人 事 1 人	個 10 人 事 10 人	個 1 人 事 1 人	個 1 人 事 1 人	12 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	個 1 人 事 1 人	個 10 人 事 4 人	個 2 人 事 8 人	個 1 人 事 1 人	12 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・送迎時の短い時間の関わりの中で、家族と信頼関係を築くことを目標に、その家族が何に困りごとを抱えていて、今どのような状態なのか等把握した上で、家族と情報共有・相談を行ない、その思いや考えを受け止めていく。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない	C:短い時間でも最近の家庭での様子などささいな事でも聞くようにしており、家族の方の様子も伺うようにしている。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・短い時間でも送迎時に聞き出すようにしている。他の職員にも聞いてもらうようにしている。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・家族とゆっくり話す機会が少なく、充分に聞き出せていない。連絡帳や電話等も積極的に活用することも必要。家族との情報共有が不十分で相談ができていないことがある。	

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・本人の情報やニーズは職員の中で共有できるようにしているが、情報の行き違いがあったり伝え方がうまくできなかったことがある。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・初期支援時には本人の情報やニーズを職員の間で共有し、利用開始したあとは現場の職員一人ひとりがその後の新たな情報を聞き、家族からも聞き出せた情報も増やしていったフェイスシートに各自記入して共有し、関わりを持つようにしていく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1 月 20 日 (金)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 森内・横田・東海林・富川・山田・古川・駒井・杉本・中井・田中・山本眞澄・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 1 人 事 1 人	個 10 人 事 3 人	個 2 人 事 9 人	個 0 人 事 0 人	12 人
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	個 1 人 事 1 人	個 3 人 事 1 人	個 8 人 事 3 人	個 8 人 事 8 人	12 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	個 1 人 事 1 人	個 2 人 事 1 人	個 9 人 事 4 人	個 0 人 事 8 人	12 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	個 0 人 事 0 人	個 4 人 事 1 人	個 8 人 事 5 人	個 0 人 事 7 人	12 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	個 0 人 事 0 人	個 8 人 事 1 人	個 4 人 事 11 人	個 0 人 事 0 人	12 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・利用者毎に担当制 (数ヵ月毎に変更) にし、毎月のケースカンファレンスで管理者・ケアマネ・看護職員とともに討議することで、利用者に深く関わり、また新たな情報等を知りえる機会が増えていくことで、利用者一人ひとりについての理解を深めていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない B:担当制になり、自分の担当の利用者について理解を深められた。ケースカンファレンスで皆が関わり利用者一人一人の理解につながり、本人の状態に応じながら支援につながられた。
② 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・ケースカンファレンスで利用者毎の情報、ケア方法を共有し、担当制にした事で情報も増えて利用者の理解につながった。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・自分の担当利用者以外の全利用者の理解に不十分な所があるのでもっと知る必要がある。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・ケアプランの共有ができていないので職員間での支援がバラバラになってしまっている。本人の目標を理解しての関わりを持っていない。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・担当制で利用者の理解を引き続き深めていき、全利用者のケアプランを入れたファイルを置いて皆がすぐ見れるようにして本人の目標を皆で周知して共有し、日々の関わりの中で目標達成できるように関わり支援を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1 月 20 日 (金)

3. 日常生活の支援

メンバー 森内・横田・東海林・富川・山田・古川・駒井・杉本・中井・田中・山本眞澄・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 1 人 事 1 人	個 6 人 事 4 人	個 5 人 事 7 人	個 1 人 事 1 人	12 人
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	個 1 人 事 1 人	個 人 事 人	個 9 人 事 4 人	個 2 人 事 8 人	12 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	個 4 人 事 1 人	個 8 人 事 7 人	個 人 事 5 人	個 人 事 人	12 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	個 人 事 人	個 3 人 事 人	個 8 人 事 8 人	個 1 人 事 4 人	12 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	個 人 事 人	個 12 人 事 10 人	個 人 事 2 人	個 人 事 人	12 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	個 2 人 事 1 人	個 10 人 事 6 人	個 人 事 6 人	個 人 事 人	12 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> フェイスシートを全職員が目を通しやすい場所に置き、個々でしっかりと読み込んでいく。また、新たに知れた情報がある時には、全職員が都度記載していく様に、事業所として意識付けに取り組んでいく。 	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A: よくできている B: おおむねできている C: あまりできていない D: まったくできていない	B: フェイスシートでおおむね情報は共有できているし、しっかりと読み込むよう心がけている。皆が目を通しやすい場所に置きわかりやすく良かった。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> 情報は目の届く所に配置され、いつでも確認できるようになっておりそれぞれ確認できている。又記載されていない情報も職員間で伝え合っている。 	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 統一した情報でも、個々のとらえ方で違った支援になっている事がある。 最初の情報だけでは不足している部分もあるが、その後現場職員が付け加えていくことができていない。 	

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が重要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> 統一されている事を、職員個々の考えで変えてしまい他の職員が戸惑う事が多々ある。 本人の声にならない声や本人の思いについて、今まで~だからと考えてしまっていて気付いていない所があるのでは。
------------------------	--

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> 変化に気づいた時は報告して共有し、支援の方向性を変える必要がある時は勝手に進めず統一した支援を皆で周知する。変更になった場合は日報のケア方法変更の欄に記載して周知し支援がバラバラにならないようにしていく。 本人の生活歴について職員皆で聞き出していき、フェイスシートに情報を増やして共有していく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1 月 20 日 (金)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森内・横田・東海林・富川・山田・古川・駒井・杉本・中井・田中・山本眞澄・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 事 1 人	個 2 事 2 人	個 8 事 10 人	個 2 事 2 人	12 人
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	個 事 1 人	個 6 事 6 人	個 6 事 12 人	個 事 1 人	12 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	個 事 1 人	個 6 事 2 人	個 6 事 10 人	個 事 1 人	12 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	個 事 1 人	個 7 事 2 人	個 5 事 10 人	個 事 1 人	12 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	個 事 1 人	個 3 事 3 人	個 9 事 3 人	個 事 9 人	12 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<p>・本人や家族、地域住民の方々から、本人がどのように地域と繋がり、地域で暮らしてきたのか、聞き取りを行ない、他の職員と情報共有を図る。</p> <p>・地域の資源（自治会・民生委員・地域住民等）について、全体会議等で情報共有を図り、全職員がしっかりと把握する。</p>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	<p>A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない</p> <p>C:コロナ禍の中情報が少なく手段もない。その中でも職員全体で家族からの情報や、地域でのつながりを意識しているので地域の方から情報が入ってきたりもする。</p>
② 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<p>・日々の利用者との関係性や家族の様子や、コロナ禍で地域とのつながりが薄い中でも情報を取り入れようとしている。フェイスシートなどを見てその人の歴史を探っている。</p>
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<p>・民生委員の活動や地域行事もほとんどない中、事業所として外へ出て、より深い情報を得られていない。</p>

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・本人の生活スタイルなども家族から聞き取ったり、日頃の関わりで情報を集めて皆で共有することが必要。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<p>・コロナ禍で外の情報が入りづらいので、日頃から業務以外でも地域の事に目を向けて情報を知る必要がある。家族にも本人がどのように過ごしているのかを聞き取っていく。</p> <p>・地域の民生委員について、広報にも載るので把握する。</p>
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1 月 20 日 (金)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 森内・横田・東海林・富川・山田・古川・駒井・杉本
中井・田中・山本眞澄・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 事 1 人 人	個 2 人 事 1 人	個 8 人 事 11 人	個 2 人 事 人	12 人
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	個 1 人 事 人	個 2 人 事 3 人	個 9 人 事 9 人	個 人 事 人	12 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	個 5 人 事 4 人	個 7 人 事 8 人	個 人 事 人	個 人 事 人	12 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	個 3 人 事 人	個 9 人 事 12 人	個 人 事 人	個 人 事 人	12 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	個 3 人 事 人	個 9 人 事 11 人	個 人 事 1 人	個 人 事 人	12 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・地域の資源（自治会福祉部や在宅福祉ネットワーク等）と協同した体制を整えていく為に、必要な情報提供と情報共有に努めていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
	C:コロナ禍であり地域との関わりが出来ない状態にあったため、地域の方にゆうあい便りなどで情報の提供はしているが、地域の方から情報を得られる機会は少なかった。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	・地域住民や地域に住んでいる職員に話を聞き情報共有を行っている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	・コロナ禍のため地域資源との関わりが持てなかった。 ・地域資源についての理解が足りていない。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・地域の資源について理解を深めることが必要である。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

	・コロナの状況も見ながら、職員一人ひとりが自分の自治会の行事等にも参加して地域の資源に関わりを持っていく。
--	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1 月 20 日 (金)

6. 連携・協働

メンバー 森内・横田・東海林・富川・山田・古川・駒井
杉本・中井・田中・山本眞澄・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 事 1 人	個 事 10 人 12 人	個 事 2 人 2 人	個 事 8 人 8 人	12 人
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	個 事 1 人	個 事 5 人 9 人	個 事 3 人 1 人	個 事 4 人 2 人	12 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	個 事 1 人	個 事 6 人 3 人	個 事 2 人 7 人	個 事 4 人 2 人	12 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	個 事 1 人 1 人	個 事 2 人 7 人	個 事 3 人 3 人	個 事 6 人 1 人	12 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	個 事 1 人 1 人	個 事 1 人 1 人	個 事 4 人 12 人	個 事 6 人 6 人	12 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・会議の資料について、必ず全職員が閲覧することを徹底し、内容の必要性に応じて全体会議等の議題として、情報共有・討議の機会を持つていく。		
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている	B:おおむねできている	C:あまりできていない D:まったくできていない
B:全体会議やミーティングの資料を閲覧し、情報共有を行う事ができた。また理解できない情報があれば質問し、その都度解決する様になっている。			
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・会議の資料に目を通し情報共有できている。		
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・会議で話し合っても忘れてしまう事がある。 ・自分の意見が言えなく活発な話し合いができていない。 ・会議の論点がずれている事があった。		

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・自治会や地域包括支援センターの会議には参加する機会がない職員はいる。 ・コロナ禍で地域住民との交流が難しい状況である。子供達と高齢者が関わる機会が少なかった。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・コロナ禍で難しいができる範囲で、保育所の子供たちの散歩の時に顔を見せてもらうなど、地域住民との関わりを持てるように心がけていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1 月 20 日 (金)

7. 運営

メンバー 森内・横田・東海林・富川・山田・古川・駒井・杉本・中井・田中・山本眞澄・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 事 1 人	個 4 事 4 人	個 8 事 12 人	個 事 1 人	12 人
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	個 事 1 人	個 4 事 2 人	個 7 事 9 人	個 1 事 1 人	12 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	個 3 事 1 人	個 8 事 11 人	個 1 事 1 人	個 事 1 人	12 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	個 1 事 1 人	個 8 事 12 人	個 3 事 1 人	個 事 1 人	12 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	個 事 1 人	個 6 事 2 人	個 3 事 10 人	個 3 事 1 人	12 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が自身の事業所について意見や思い等が自由に発言できるよう、全体会議の在り方、その前に行われるリーダー会議の在り方について協議し、事務所職員に介入していただきながら、一人ひとりが自由に発言できる体制、進行方法等を見直していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	<p>A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない</p> <p>C:リーダー会議で決めてほしい事については、リーダークラスの職員に意見として伝えることができ、リーダー会議では色々な意見が出ている。しかし、全体会議では一人ひとりが自由に発言できていない。</p>
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> 会議では発言しすぎず、他の職員の意見を聞くように気をつけている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 自由に発言できていない職員には意見を引き出すことが不十分だった。 自分の価値観を他の職員にも共用するような職員がいるため遠慮や、その場の空気を読んでしまい自由に発言できていない。発言しても意見が通りにくい時がある。 事務所の職員の介入はなかった。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で地域との関わりが少ないため協働した取り組みができない。地域の意見などを聞く機会も少ない。 事業所のあり方や思っていることがあっても意見が言えない。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> 普段から他の職員の意見について否定をせず、意見がある時は提案の形で伝え、全職員が事業所について意見や思いを言い合えるようにしていく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1 月 20 日 (金)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 森内・横田・東海林・富川・山田・古川・駒井・杉本・中井・田中・山本眞澄・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 1 人 事 1 人	個 7 人 事 11 人	個 2 人 事 1 人	個 2 人 事 1 人	12 人
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	個 3 人 事 1 人	個 8 人 事 11 人	個 1 人 事 1 人	個 1 人 事 1 人	12 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	個 3 人 事 1 人	個 7 人 事 9 人	個 1 人 事 3 人	個 1 人 事 1 人	12 人
③	地域連絡会に参加していますか	個 1 人 事 1 人	個 3 人 事 3 人	個 2 人 事 6 人	個 7 人 事 3 人	12 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	個 1 人 事 1 人	個 7 人 事 7 人	個 4 人 事 5 人	個 1 人 事 1 人	12 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・事業所運営に欠かせない必要な資格 (介護福祉士・介護支援専門員等) や研修会 (認知症実践者研修等) に積極的に参加、取り組める様、事業所として職員をバックアップした体制 (他職員への周知や勤務体制等) を整えていく。・職員のスキルアップ、手技獲得に繋がる内部研修を整えていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない B:資格取得や研修会に参加できるように勤務体制は整えられ、様々な研修に参加し学ぶことで仕事に活かすことができた。
② 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none">・今年度は研修の機会も増え、研修には参加できていた。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で職員のスキルアップにつながる研修が不十分だと思う。

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・研修に参加できなかった職員に対し、報告・周知ができていない。・リスクマネジメントへの取り組みが少ない。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none">・必要な研修、資格取得については勤務調整を行い、全職員に研修の機会を設けスキルアップにつなげていく。リスクマネジメント等の内部研修を行い、意識向上を図っていく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1 月 20 日 (金)

9. 人権・プライバシー

メンバー 森内・横田・東海林・富川・山田・古川・駒井・杉本・中井・田中・山本眞澄・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 3 人 事 1 人	個 7 人 事 7 人	個 2 人 事 5 人	個 1 人 事 1 人	12 人
①	身体拘束をしていない	個 10 人 事 4 人	個 2 人 事 8 人	個 0 人 事 0 人	個 0 人 事 0 人	12 人
②	虐待は行われていない	個 7 人 事 2 人	個 5 人 事 4 人	個 0 人 事 5 人	個 0 人 事 1 人	12 人
③	プライバシーが守られている	個 5 人 事 1 人	個 5 人 事 2 人	個 2 人 事 8 人	個 0 人 事 2 人	12 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	個 3 人 事 1 人	個 7 人 事 12 人	個 1 人 事 1 人	個 0 人 事 0 人	11 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	個 4 人 事 1 人	個 6 人 事 4 人	個 2 人 事 7 人	個 0 人 事 1 人	12 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・日々の業務の中で、スピーチロック（言葉での抑制）、ドラックロック（薬での抑制）について、利用者の人権を守る立場の専門職であることを常日頃から心がけ、それを侵略することが無いよう全体会議等で検討していく。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
B:専門職であることを意識して日頃より心がけて接している。	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・身体拘束や虐待は行っていない。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・他の利用者に影響が及ぶような時や、自分の心理状態が良くない時は言葉に出てしまう事があった。又、そのような職員を見たり聞いた事もあるが注意できない。	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・利用者さんに聞こえてしまうような声で他の利用者さんの話をしてしまっている。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・利用者さんに対して基本的な言葉遣いに注意する。利用者さんがいる時は他の利用者の話をしないように気を付け、プライバシーも守るように心がけていく。
--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・ 事業所 の特徴	本別町社会福祉協議会が運営する事業所。 本別町市街地からは離れた所に立地している。 地域住民の方々の理解と協力を得ながら運営しており、利用者の方々の住み慣れた地域 で生活していただくという考えのもと、地域密着型の介護保険事業所としてその機能を 担っている。
事業所名	勇足小規模多機能型 居宅介護事業所 「ゆうあいの里」	管理者	森内 久美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の改善計画を具体的で誰が見てもわかりやすい内容にする。全体会議で職員間で共有し、1カ月毎に一つ改善計画を取り上げ、計画的に達成又は評価できるように取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が事業所の改善計画を共有する機会が少なく、1ヶ月毎に取り上げる事が不十分だった。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業所の改善計画を基に、実効性にある具体的な行動を起こせるよう、問題点や改善点を話し合う時間を作り、職員間の情報共有を図る。
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓、美化、衛生面を常に心がけ、快適な居場所と居心地の良い事業所作りを意識する。 地域の皆様に事業所に立ち寄っていただける、興味を持っていただける季節に合わせた工夫（花畑やアイスキャンドル）を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者と季節に合わせた作品作りや展示を行った。事業所の整理整頓、衛生面も毎日定期的な心掛けて実施する事ができた。 ゆうあいの里のウッドデッキに朝顔を咲かせ、利用者も一緒にふれあいの家の花壇づくりや畑づくりを行った。利用者自ら草取りや収穫を行う為に外に出る機会もあった。アイスキャンドルは保育所迎え時の時間帯に点灯することにより、地域の皆様にも喜んでいただけた。少し時期が遅くなってしまったので今年度はもう少し早い時期から行う。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の現状では一般の人はなかなか入れない状態だが、コロナの状況によってはもう少し入れるようになれば良いと思う。 ゆうあい便りがまわってくるので、行事などわかって良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓、美化、衛生面を常に心がけ、快適な居場所と居心地の良い事業所作りを意識する。 事業所の外観にも気を配り、花壇や野菜畑を作って地域の皆様、利用者が気持ち良く思えるよう環境を整える。
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の広報誌及びパンフレットの内容の見直しを図り、回覧板の活用やコロナ禍の時代に合わせたPR方法で、事業に関して地域の理解を求めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆうあい便りを計画通り発行して事業所職員紹介を写真で地域に向けて発信してPRを行った。相談窓口の内容も取り入れるよう心掛けている。 オレンジカフェについては回覧板でPRしたが、もう少し早めの対応が必要だった。パンフレットについては、内容について見直しを図っている最中であり完成までまだかかる状況。 引き続き運営推進会議で地域で気になる方の情報共有を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は挨拶できており事業所は相談しやすい場所になっていると思う。 オレンジカフェについては、来たことのない人はチラシだけではどういう感じなのか不安もあり、なかなか来れない人もいるのではないかと。また、コロナ禍が収まれば少しでも声掛けができるのだが。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆうあい便り等の広報誌を活用して事業所が相談窓口になっていることを周知していく。 オレンジカフェなど地域の方が気軽に来れるような内容の検討を行っていくとともに、気軽に来れるような周知の仕方を検討し、広報する。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ情勢の動向をみながら、地域で暮らす方々の楽しみとなる集まり場や健康的に暮らす為の啓発活動などを企画し、地域に事業所が根付き、途切れることなく繋がりを持ち続けられるように取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響が引き続きある中で規模を縮小しながらでも、感染症の流行状況をみながら少しずつ地域との関わりを持つことができています。 ・勇足保育所との交流会は換気対策を行い交流を図ることができて、利用者の笑顔で楽しむ姿を見ることができた。 ・季節ごとの花見や紅葉見学など少人数ずつ行い、コロナ禍で少しでも利用者の楽しみに繋がる機会を持つ事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるなら外の行事が良いのではないかと。コロナ禍では室内に多数集まるのは難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き今後のコロナ情勢の動向を見ながら、ゆうあい便り等で地域へゆうあいの里の状況を伝え、地域とのつながりが途切れないように取り組んでいく。 ・管理者やケアマネージャー等が地域を訪問する機会を増やし、サービスを直接説明したり、ちょっとした相談を受ける機会を増やしていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、書面開催が継続している中でも、円滑な情報共有や意見交換ができ、有効的な運営推進会議となるよう、書面の内容、協議の在り方について、継続的に見直し、検討していくことで、委員の皆様から事業所の状況や理解が深まるよう取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は、感染対策をしながら対面で開催するようにしており、委員の方が気軽に事業所を訪れることが出来ない状況であっても、事業所の状況や利用者の状況を情報共有することができている。また、委員の皆様から率直な意見が活発に出されることにより、事業所の運営改善に寄与している。 ・コロナ禍により、委員の皆様が以前のように地域に積極的に出向く機会が減少しており、地域の状況を把握することが難しくなっていることを踏まえ、地域で気になる方の情報共有を密にし、事業所からも積極的にアウトリーチしていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では、活発に意見も出され、反映されており良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、介護サービスの提供と地域課題への取り組みの実施について、運営推進委員の方々の意見を取り入れ協力しながら協議、検討を重ねていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害対策計画、業務継続計画（BCP）を運営推進会議委員の皆様から周知、そしてともに協議していくことで、実践的な計画にしていく。また、その計画に基づき、まだ未実施である水害を想定した地域協働の避難訓練を計画する。 ・水害等の緊急時には、旧養護老人ホーム等の活用も視野に町と協議を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成が求められている、業務継続計画、非常災害対策計画、避難確保計画、消防計画を一体的に策定するため、他事業所と合わせ「災害時等業務継続計画策定委員会」を開催し、令和4年度中に策定できるよう進めている。 ・水害時の受入先・連携先についても計画に盛り込み、本年度中に各関係機関と打合せの上、協定するよう進めている。 ・水害時の避難訓練については、策定した水害時避難訓練マニュアルにより令和5年度より行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の防災訓練と一緒に参加するのはどうか。 ・避難訓練時には委員も参加したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・策定した業務継続計画（BCP）（非常災害対策計画）を、運営推進会議委員の皆様から周知し、さらに充実を目指し協議していくことで、実践的な計画にしていく。また、その計画に基づき、まだ未実施である水害を想定した地域協働の避難訓練を計画、実施する。 ・水害等の緊急時には、旧養護老人ホーム等の活用も視野に町と協議を進めていく。

